



殺虫殺菌剤 登録番号 第 23642 号

OATイオウフロアブル

(水和硫黄剤)

有効成分	硫黄 52.0%
性 状	淡黄色水和性粘稠懸濁液体
毒 性	普通物
有効年限	3 年
包 装 (1ケース)	1ℓ×12本
化管法	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（1種）

特長

1. 作物の表面に均一に付着するので、高い効果を発揮します。
2. 微粒子製剤(フロアブル)なので、汚れが目立ちません。
3. 散布液の調製時の粒立ちが少なく使い易い剤型です。
4. 有機農産物の日本農林規格（有機JAS）に適合する農薬です。

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む 農薬の総 使用回数
りんご	うどんこ病 褐斑病	500	200～ 700L/10a	発病前～ 発病初期	－	散布	－
かんきつ	ミカンサビダニ チャノホコリダニ	400		発生初期			
もも ネクタリン あんず うめ	黒星病	500		発病前～ 発病初期			
かき	うどんこ病	400～800 400	60～ 150L/10a				
麦類	赤かび病						
	赤さび病						
野菜類 (すいか、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、 ねぎ、わけぎ、あさつき、 いちごを除く)	うどんこ病	500～1000					
すいか かぼちゃ		500					

トマト ミニトマト		500～1000	100～ 300L/10a			
	トマトサ ビダニ	400		発生初 期		
ねぎ わけぎ あさつき	うどんこ 病	500～1000		発病 前～ 発病初 期		
	さび病	500				
いちご	うどんこ 病	500～1000		親株床 初期		
		2000		発病 前～ 発病初 期		
ぺぼかぼちゃ (種子)		500				
芝	さび病	300	1L/m ²	発病初 期		

使用上の注意



1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
3. 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。但し、かんきつに使用する場合、石灰硫黄合剤と使用直前の混用は可能です。
4. マシン油乳剤との混用及びマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布はさけてください。
5. 芝のさび病については、多発時に効果が劣ることがあるので注意してください。
6. 夏期高温時(28℃以上)の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
7. いちごに使用する場合、ハウス栽培等での高温条件では、葉に薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。また、果実に汚れを生じるおそれがあるので注意してください。
8. 麦類の赤かび病に使用する場合、多発生条件下では効果が劣ることがあるので、所定範囲の高濃度(400倍)で使用してください。
9. 日本なし、ぶどうなどには薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
10. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
11. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害や作物への汚れの有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
12. 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。
眼に入った場合には、直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
13. 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
14. 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

貯蔵上の注意

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。